

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道488号 東山バイパス <small>ひがしやま</small>		事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県廿日市市吉和 <small>はつかいち よしわ</small> 至：広島市佐伯区湯来町多田 <small>さえき ゆき ただ</small>			延長	3.7km	
事業概要 一般国道488号は、島根県益田市から広島県廿日市市に至る延長約115kmの幹線道路である。 東山バイパスは、交通隘路の解消を目的とした、延長8.2km（うち広島県施工3.7km）の2車線道路である。						
H5年度事業化	都市計画決定なし		H5年度用地着手	H5年度工事着手		
全体事業費	約44億円		事業進捗率	49%	供用済延長	0km
計画交通量	1,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 2.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 23/54 億円 事業費：18/50億円 維持管理費：4.2/4.2億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 60/60億円 走行時間短縮便益：58/58億円 走行費用減少便益：1.6/1.6億円 交通事故減少便益：0.15/0.13億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.3(交通量+10%) B/C=2.2(交通量-10%) 事業量変動：B/C=2.5(事業費+10%) B/C=2.9(事業費-10%)						
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（現道の事前通行規制区間及び冬期通行閉鎖区間の解消）						
						他3項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 廿日市市の合併建設計画において主要事業に位置づけられており、早期整備が望まれている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ウッドワン美術館、温泉施設「クヴェーレ吉和」、女鹿平スキー場など、旧吉和村に観光施設が整備されている。平成15年3月には旧吉和村が廿日市市と合併、平成17年4月には旧湯来町が広島市と合併した。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収は完了。広島県施行区間については、起点側から約1.8kmの区間について改良工事が完了している。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 起点側からの改良工事を引き続き推進し、この先約1kmを整備することにより、林道を介して現道にタッチさせ、事業効果の早期発現を図る。						
施設の構造や工法の変更等 建設発生残土はすべて工区内で流用することとしている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。